



「茶畑からの社会貢献」を茶畑オーナーと創り上げる  
おぶぶのコミュニティー専門誌

# 茶畑オーナー通信

「震災復興お茶キャラバン」ご報告特集号

「今月のお茶」

春のお茶三題 & 日本一早い新茶

特集

震災復興お茶キャラバンを  
「寄り添う力」の大切さ

- 震災復興お茶キャラバン参加オーナー様体験談
- 北限の茶畑プロジェクト at 陸前高田

今月の表紙：日本最北限の茶畑  
日本最北限といわれる陸前高田市  
気仙町の茶畑から被災した町を望む。

2012  
3月号



# 春の七茶三題

## ●その壹・桜茶

この時期一番人気のお茶、桜茶。梅酢と伯方塩で漬けた八重桜のつぼみは、お茶として飲むだけでなく、日本酒に浮かべたり、スイーツに使ってもグッド。

【飲み方】 ぬるま湯で一分程度、塩抜きし、茶碗に入れ、お好みの量までお出し上がり下さい。



## ●その貳・ちよつとせいたくな玄米茶

この国産のもち米を蒸して、干して、焙煎して茶葉と合わせました。このおぼしさが違います。

【飲み方】 茶葉らもを急須に入れ、100℃の熱湯で約30秒ほど抽出。



## ●その参・かつエイノシス京番茶

三月に収穫した番茶で作った京番茶。落ち葉のような見た目からはちよつと想像できないやさしい味わいです。かつエイノシスなので赤ちゃんでもOK。

【飲み方】 ちよつもの茶葉を急須に入れ、100℃の熱湯で三〜五分抽出。または沸騰した三口瓶のお湯に一五もの茶葉を入れ、二〇分から一晩抽出。



## 沖縄からの便り 日本一早い新茶

沖縄本島最北の村、国頭村(くにがみそん)にあるおぶぶ提携茶園で三月一四日に収穫したばかりの日本一早い新茶です。知床は高地にあるため、いわゆる新茶の季節である八十八夜よりも遅れておいしい新茶が採れる(リーズン)になります。でも茶畑オーナー様には誰よりも早く新茶を楽しんでほしくて、提携しちゃいました。

品種は『印雑(いんざつ)』で、ジャスミンのような花の香りがする珍しい新茶。そしてこのお茶を作ってくださっているのが写真の糸満さんです。

【飲み方】 茶葉らもを急須に入れ、100℃の熱湯を注ぎ、三〇秒抽出。



日本一早い新茶の生産家・糸満さん



# オーナー茶園よりあっきーの「茶畑日誌」 (2011.11.11~2012.3.10)

## 「冬から春への肥料まき」の巻

冬から春にかけて、最初の作業は肥料まき。お茶の木は、実や花ではなく葉を育てたいので、窒素分が多く含まれる肥料をまきます。肉かす、魚かす、油かすなどがよく使われます。おぶぶでは、油かすの一種である、なたねのしぼりかすを主に使っています。ここ和東の場合、斜面が峻険であるため、サンパーと呼ばれる管つきリュックサックに肥料約40kgを詰め込み、茶畑の間を歩きまわりながら、茶の木の根本に肥料をまいてゆきます。

このような肥料まき作業を6000坪(2町歩)の茶畑に年間7回、合計20トンの肥料をすべて手作業でまいています。

和東の茶畑での肥料まき作業はなかなか大変なお仕事なのです。



菜種の油カス肥料をサンパーに移す。



サンパーを背負ってみた  
(重さ40kg)



こんな感じで茶畑の間を歩きながら散布

※茶園主 喜多幸浩について；



大学時代、ここ和東で飲んだ一杯のお茶に感動。大学を中退、茶農家に。10年の修業ののち、茶畑直送のお茶のネット販売「京都おぶぶ茶苑」を設立。自らが感動した茶葉を作るために今日も茶畑に立つ。

統計をとったわけでもないのに、ほんと主観にすぎないお話。『震災復興お茶キャラバン』で東北をまわって感じたこと。それは東北の人は、ふだんから結構いいお茶を飲んでるのでは?ということ。あと量もすごくたくさん飲まれます。それからほうじ茶はほとんど飲みません。

つまりけっこう上等な煎茶をたくさん飲んでくれるという、茶農家にとって、神様のような方がたくさんいるところ、それが東北です。

で、いろいろと想像をめぐらして思うのは、経済的なお茶生産の北限は、茨城久慈〜新潟村上といわれていて、東北で商業的にお茶を作るのは、気候上きびしいのが現実。つまり東北ではお茶を作るのが難しいからこそ、お茶に糸目をつけないのではないかと。あ、あその他の海産、農産物がめっぽうまいからかも。東北の方々にあぶぶのお茶を飲んでもらえる機会をもっと作れたら、すごく意義深いと感じたお茶キャラバンでした。



たくさん飲んでくれるのは純粹にうれしい!

東北の人はふだんから結構いいお茶を飲んでる・・・ようだ



特別編





## 「寄り添う力」の大切さ

東日本大震災より一年が経過しました。地震、津波、原発事故という人智を超えた大災害は、私達に自らの無力さを痛感させました。

そんな無力な自分たちでもできることがあると信じ、茶畑オーナー様をはじめ多くの方と共に支援物資を避難所に直接送る等の支援を続けてきました。

しかし支援するならば、やはり現地に行かねば本当のニーズが分からないとの想いは、支援するほごに募り、また『お茶』にできることがきつとあると思っていました。

そこで企画したのが『震災復興お茶キャラバン』でした。活動の趣旨は、『お茶で心をあたためる』こと。正月明け、被災地からボランティアが減る一月四日〜二十三日の約三週間、十人乗りの大型バンで東北（岩手・宮城・福島）、関東（茨城・埼玉・神奈川）の六県を縦断しま

した。総移動距離は約二〇〇〇キロ。具体的な活動は、仮設住宅や老人ホームでのお茶会や落語会・餅つき、仮設に住む方一〇〇名を招待した温泉ツアー、北限の茶畑訪問、埼玉・神奈川の風評被害に苦しむ茶産地での講演会など、四十一の企画を実施し、約一三〇〇名の方にお会いさせて頂きました。

また十一名の茶畑オーナー様が同行くださり、現地に住む七名のオーナー様に様々な調整をして頂きました。またハワイなど海外も含めた茶葉の寄付八十五kg、募金は総額一六〇万円を超えました。本場に多くの方と共に実施することができました。

現地で実際に見た現状、被災した方が語る生々しいお話などをここで十分に紹介できないのは残念ですが、ひとつだけはお伝えしたいことがあります。人智を超えた大災害を前に人

## 「震災復興お茶キャラバン」を行き

は為す術がありません。大切な人を見殺しにせざるを得なかった人、全てを失ってなお生き残った人のために私達に言葉はありません。

そのような状況で人に残された唯一の力。それは『寄り添う力』だと思えます。孤独のどん底にいても誰かがそばにいると実感できた瞬間、どれだけ心強いことか？一人ぼっちじゃないと思えるからこそ、人は人として生きてゆけるのだと思います。

『寄り添う力』とは、為す術のない困難に直面した人のために

何もしてあげられない人ができる最後の能力だと思います。

そしてお茶は、その『寄り添う力』を人に自然と発揮させてくれる最高のツールだと感じました。

遠く京都の茶畑からですが、人の『寄り添う力』、それを高めてくれるお茶の力、そして世界中の茶畑オーナー様と力をあわせて、お茶でできる復興支援をこれからも続けてゆきたいと思えます。



「震災復興お茶キャラバン」の道のり





# 茶の里写真館

## ～ 東日本大震災復興支援お茶キャラバン特集 ～

被災した東北地方各地を巡った今回の「東日本大震災復興支援お茶キャラバン」で、私たちは多くの方と触れ合い、多くのものを見てきました。



いまだに2階に上がった  
ままのバス・石巻



三階まで津波をかぶった防災庁舎・  
南三陸



陸前高田の一本松を見下ろす  
北限の茶畑



会津若松にある大熊町  
仮設住宅内の散髪屋



さをり織りを漁村の新しい  
産業に・宮古



お茶で笑顔・大船渡



飯館村村長も来られた  
親睦大イベント・福島



メッセージ付お茶を贈呈。  
知束小⇒気仙沼大島小



風評被害に苦しむ茶産地での  
お茶会・狭山



仮設に住む百名様を温泉に  
ご招待・名取



茶畑オーナー経営の日本茶  
カフェにて・仙台



ネット活用で震災復興！  
セミナー実施・釜石



# 茶畑オーナー見聞録

## 『震災復興お茶キャラバン』に参加して下さった茶畑オーナー様たち

石川玲緒奈さま・空くん（主婦）

【茶畑オーナー歴 2011年6月】

### ●茶畑オーナーになった理由

大阪在住で、参議院議員をさせていたでいる石川ひろたかの妻です。

『子どもと茶摘みができる茶畑』・『父の日のプレゼント』・『米寿になる祖母に7人の孫と7人のひ孫からのプレゼント』をインターネットで検索をしていたら、おぶぶさんのホームページが目にとまり、3つとも同時に叶うもので、町おこしなど理念も素晴らしいので申し込みをしました。

### ●震災復興キャラバンに参加して

一月四日から八日まで、このキャラバンに参加させて頂きました。冬休み期間中に小学一年生の子どもと一緒に何かお役にたてる事はないか探している中で、おぶぶさんのこのお話を伺いました。お茶を出す手伝いなら、子どもにもできるかもしれないと思い参加させて頂きました。

多くのご縁を頂きながら母子共に大変貴重な日々を過ごしました。被災地の方に温かいお茶を飲んでもらい、束の間でも、ほっこりして頂きたいと思って参りましたが、逆に元気を頂いて帰ってきました。美味しいお茶を飲んで嬉しそうなお顔は、今でも忘れることができません。子どもも感じるころも沢山あったようで、大阪に帰ってから、進んでお手伝いなどもするようになりました。

これからも出来る事は何でもさせて頂きたいと思えます。被災地の復興・そして心の『福幸』を心よりお祈り申し上げます。また、復興のためにボランティア活動して下さいの陰の御苦労に心より感謝申し上げます。



親子で参加して下さった石川玲緒奈さん・空くん

高野栄二さま（会社経営）

【茶畑オーナー歴 2011年8月】

緑化関係の会社を経営して居ります関係上、環境貢献等の活動を展開し、頑張っ参りましたが、一社&一人の力では到底限りがあり、限界を感じてました。

去年の8月 京都おぶぶ茶苑のホームページを拜見、地域貢献等々の活動を積極的にやっておられる企業とわかり即オーナーの申し込みをさせて頂きました。

お茶の木は環境貢献（植林・CO2削減）の他に、喜多・代表も提唱して居ります様に、日本茶の大なる魅力は世界に誇るべき文化です。

今回の災害復興茶キャラバン活動には、おぶぶ茶苑様・現場に動向したボランティアの皆さまに、感謝とご苦労様とお疲れ様、の言葉を差し上げたいと思います。

また一月十五日には、仮設住宅（名取市閑上地区）の入居者に対し日帰り温泉（昼食付き）にご招待頂き、誠に有難うございました。

京都おぶぶ茶苑様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



おぶぶスタッフと写真に収まる高野さん



# 『北限の茶畑プロジェクト at 陸前高田』

まだまだ支援します!!

陸前高田にある北限の茶畑で茶摘み体験ツアー & 手摘みした茶葉で寄付を集め、陸前高田の復興を応援しようね!プロジェクト



## ■ 概要 ■

### ● プロジェクト1：北限の茶畑での茶摘み体験ツアー

二〇一二年五月末、北限の茶畑にて茶摘み体験を実施。約100kgの生葉を収穫。製茶後20kgの乾燥茶葉にします。

### ● プロジェクト2：寄付金つき「北限の茶畑・手摘み新茶」の購入・紹介・販売

その20kgの茶葉を5～50gに小分け。袋詰めした茶葉を500～1,000円の寄付金つき「北限の茶畑・手摘み新茶」として、趣旨に賛同するメンバーで協力・分担し、購入・紹介・販売します。

## ■ 効果 ■

その茶葉を完売すると、約400万～2,000万円の寄付金が集まり、それを陸前高田の復興に役立てます。このプロジェクトを二十年継続すれば、陸前高田の復興と共に歩めるのではないのでしょうか？

## ■ 詳細 ■

### ● プロジェクト1：北限の茶畑での茶摘み体験ツアー

- ・時期：二〇一二年五月末～六月初旬。（五月十日までには決定）
- ・集合場所：陸前高田市内のわかりやすい場所（集合場所までは各自で移動）
- ・開催場所：岩手県陸前高田市気仙町の茶畑
- ・内容（案）：  
（一日目）AM 茶摘み / PM 製茶工場にて製茶  
（二日目）AM 茶葉の袋詰め / PM 被災地の視察

### ● プロジェクト2：寄付金つき「北限の茶畑・手摘み新茶」の購入・紹介・販売

- ・販売時期：二〇一二年六月初旬より、三ヶ月から一年
- ・参加方法：
  - ① お茶好きの方  
一袋から、「北限の茶畑・手摘み新茶」を購入いただけます。
  - ② お茶小売店、カフェなど  
まとめて購入し、ご自身のお客様にご紹介、販売いただけます。
  - ③ HPやブログをお持ちの方  
ご自身のHP・ブログで内容・購入場所などをご紹介いただけます。



あなたのご協力が陸前高田とこの茶園の再生に役立ちます。

詳細は、おぶぶHPにて随時更新してまいりますね。  
復興のために力を合わせましょう！

## ※ 次回の発送は5月23日頃の予定です。

## ● 編集後記「ぶぶ漬けたバヤー」

気がつけば春ですね。今年は、各所で雪が多かったこともあり、春が遅いようです。沖縄の日本一早い新茶も一週間ほど収穫が遅れました。冬がちゃんと寒いと新茶の味は良くなると言われてはいますが、春が遅いのは心配です。そしておぶぶでは一月より新メンバーを迎え、三月一〇、一一日には第一回世界茶産地フェスティバルも二〇〇〇人以上の来場を得て、大好評でした。さらに充実した一年にできるようにがんばりますね。

## ✈ 今日のオニナニ状況

(2012年2月末日現在)

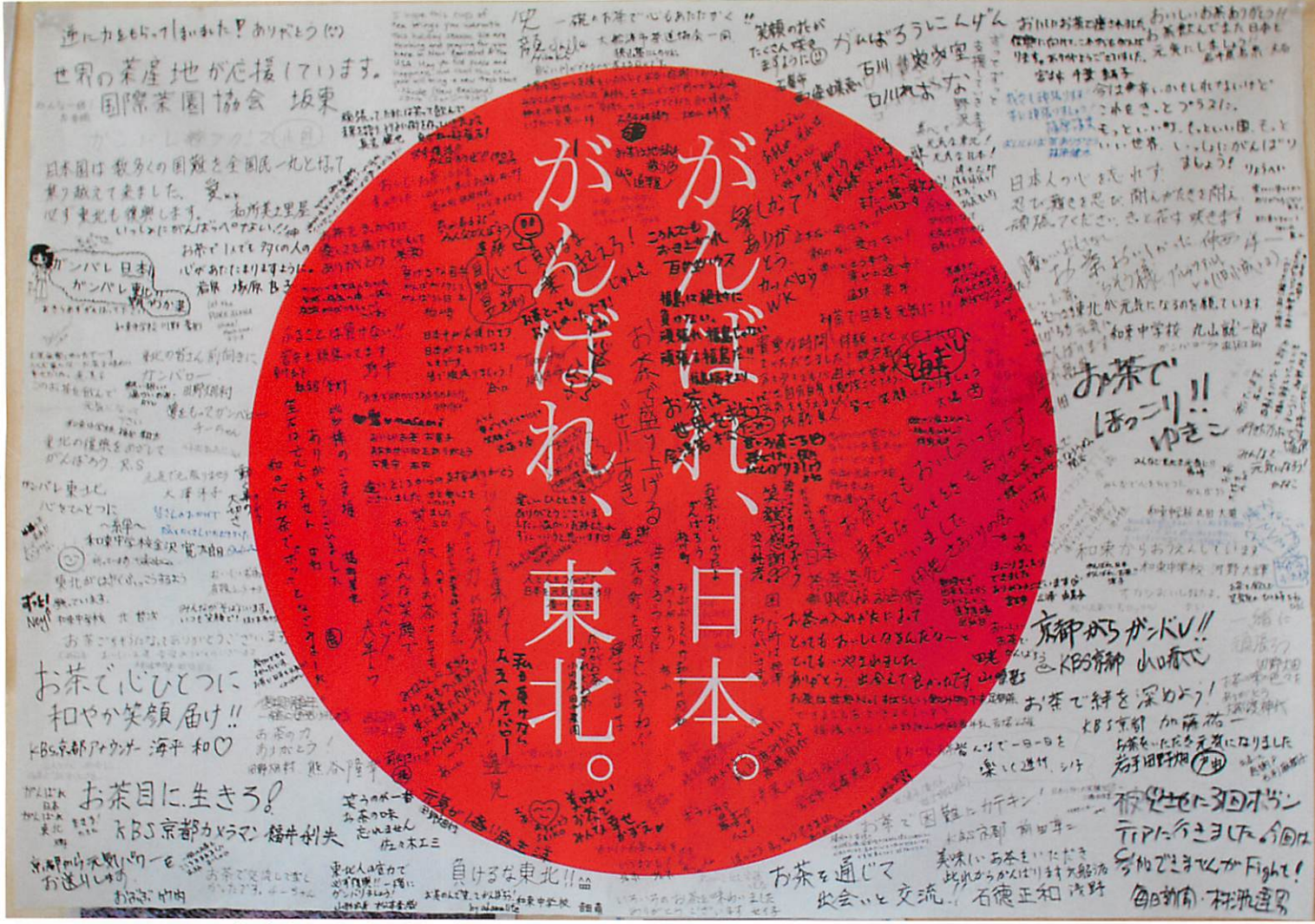
- 人数：総数582名 ●坪数総計：634坪
- 配送先：10カ国（日本、アメリカ合衆国、ドイツ、フランス、韓国、オーストラリア、台湾、スイス、イギリス、ハンガリー）
- 人数の多い都道府県：1位 東京、2位 大阪、3位 京都

企画・編集

京都和東  
**茶 京都 おぶぶ茶苑**

〒619-1213 京都府 相楽郡和束町 南 大生水4-4  
フリーダイヤル **0120-309-022** FAX 0774-78-2215  
Mail obubu@obubu.com 京都おぶぶ茶苑 検索





お茶キャラバン隊と共に東北に行き、各地でたくさんのメッセージをいただいた旗

## 活動報告 茶畑オーナーさまのおかげで、たくさんの活動が実現しました。ありがとうございます。

### ～ 日本茶を世界へ ～

#### ■ 3/10～11 第1回 世界茶産地フェスティバル

世界五カ国の茶農家&2000人を超すお茶好きが京都・和束に集合！ 世界のお茶、お茶づくりの屋台村（茶漬け、肉骨茶、抹茶カレーなど）、落語、ヨガ、将棋、着物ロックバンドなどを楽しみました！

### ～ 農業を楽しく ～

#### ■ 3/25 茶苗の植林体験

地球にお茶の木を植えます。今回は約2000本を植える予定。お昼には、お茶づくり弁当も。



#### ■ 4/28 茶摘み&手もみ体験

新緑の茶畑でお茶を摘み、摘んだ茶葉を釜炒り製茶して、楽しんでみませんか？ 茶娘衣装のコスプレも大好評です！



#### ■ 5/19 日本一の茶摘み体験

全国茶品評会に出品する茶葉を手摘みする茶摘み体験です。一昨年は全国114位、昨年は80位。今年は、あなたの力で何位になれるかな！？



### その後の予定

7/7 夏の茶摘体験 9/29秋の茶摘体験